

科目名		担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
演習		田添 篤史	演習	4		1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 5	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的		現代の社会には様々な課題がある。それらを考えるために、現代社会について様々な面から取り扱ったテキストを輪読する。 そのうえでゼミ生が自ら選んだテーマに基づいて調査および報告を行い、卒業論文を完成させることを目標とする。						
到達目標		① 現在の経済に関して重要と考えるテーマを、自らで設定することができる。 ② 自分で設定したテーマに関して、卒業論文を完成させる。						
回	学習内容		回	学習内容				
1	演習の目標、評価方法の説明		16	卒業論文のテーマ発表				
2	経済の仕組みと経済政策		17	テーマを決定した理由についての発表				
3	日本の経済政策の歴史		18	テーマ選択の妥当性についての検討				
4	国土開発政策		19	先行研究の調査				
5	中小企業政策		20	先行研究についての発表				
6	農業・食料政策		21	先行研究に対する批判的検討				
7	労働政策		22	論文の構成の発表				
8	医療政策		23	論文構成の妥当性に関する検討				
9	住宅政策		24	自己の主張について				
10	コミュニティ政策		25	自己の主張をどのように根拠づけるのか				
11	財政政策		26	先行研究と自己の主張との関連性				
12	金融政策		27	結論についての発表				
13	科学技術政策		28	結論の妥当性についての検討				
14	通商政策		29	卒業論文の発表				
15	開発援助政策		30	卒業論文に対する質問およびリプライ				
予習内容 復習内容	予習：指定された文献について読んでおくこと。 復習：演習で行ったディスカッションをまとめておくこと。							
教科書	受講者と相談のうえで決定する。							
成績評価	ゼミでの発表およびディスカッションへの参加：50% 卒業論文：50%							
実務経験								
その他 特記事項								